

比謝川行政事務組合 地球温暖化対策実行計画（事務事業編） 実施状況（2021 年度実績）

1 二酸化炭素排出量削減目標達成状況

比謝川行政事務組合の事務・事業により排出された 2021 年度の温室効果ガス排出量は、9,958 t-CO₂ で、基準年度（2017 年度）に比べ 1,252t-CO₂ 減少しました。これは、杉の木が年間に吸収する二酸化炭素の約 89 本分に相当します。

減少した要因は、主にもえるごみに含まれるビニールやゴム、合成樹脂などのプラスチック系ごみ焼却の減少の他、ニライ消防本部における電力使用量、A 重油使用量の削減によるものとなっております。

今後も環境に配慮した施設の運転管理に努め、比謝川行政事務組合の事務・事業により排出される温室効果ガス排出の抑制を図ってまいります。

表 1 基準年度との比較

区 分	排出量（単位 t-CO ₂ ）		削減量（削減率）
	基準年度(2017 年度)	2021 年度	
温室効果ガス	11,210	9,958	△1,252（△11.2%）

2 比謝川行政事務組合の施設毎の温室効果ガス排出状況

比謝川行政事務組合の各施設毎の温室効果ガス排出状況は下記のとおりです。

表 2 2021 年度施設毎の温室効果ガス排出量

No.	施設名称	排出量（単位 t-CO ₂ ）		
		基準年度 2017 年度	2021 年度	比較
1	一般廃棄物処理施設	10,518	9,337	△1,181
2	一般廃棄物最終処分場	100	97	△3
3	ニライ消防本部	591	523	△68
4	事務局	1	1	0
	合 計	11,210	9,958	△1,252

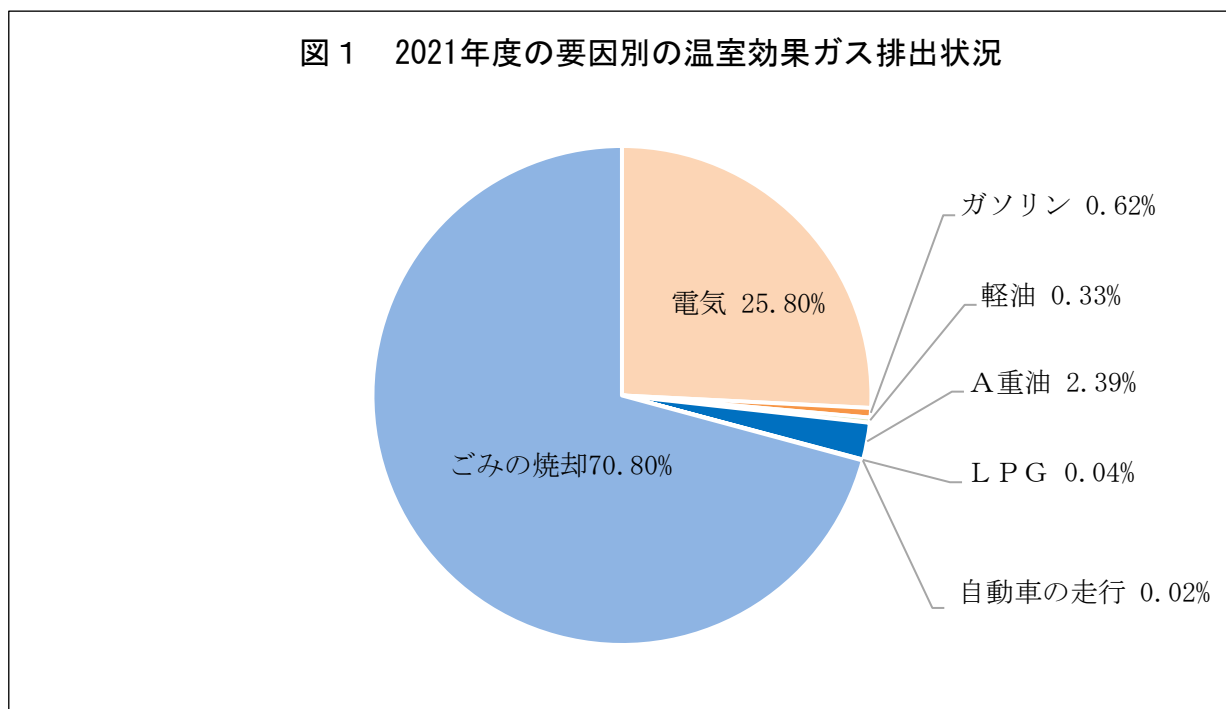
3 要因別の温室効果ガス排出状況

比謝川行政事務組合の事務・事業による温室効果ガス排出状況を要因別にみると、ごみの焼却によるものが全体の70.80%を占め、次いで電力使用によるものが25.80%となっています。

表3 2021年度要因別の温室効果ガス排出状況

	電力	ガソリン	軽油	A重油	LPG	自動車の走行	ごみの焼却	
使用量	3,341,433	26,460	12,670	87,739	652.9	175,509	15,903 総焼却量	2,446 プラスチック
	kWh	L	L	L	m ³	km	t	t
排出係数	0.000769	0.00232	0.00258	0.00271	0.00655	※	0.000077	2.765
							0.0000539	
	t-CO ₂ /kWh	t-CO ₂ /L	t-CO ₂ /L	t-CO ₂ /L	t-CO ₂ /m ³	t-CH ₄ /km t-N ₂ O/km	t-CH ₄ /t t-N ₂ O/t	t-CO ₂ /t
温室効果 ガス排出量 (t-CO ₂)	2,570	61	33	238	4	1.69	286.0	6,764
割合 (%)	25.80	0.62	0.33	2.39	0.04	0.02	70.80	

図1 2021年度の要因別の温室効果ガス排出状況



4 基準年度（2017年度）からの温室効果ガス排出状況の推移

基準年度（2017年度）と比較して11.2%減少、2020年度比較では12.9%温室効果ガス排出量は減少した。

表4 温室効果ガス排出量の推移

区 分	排出量（単位 t-CO2）				
	基準年度 2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
温室効果ガス	11,210	10,923	12,511	11,432	9,958
基準年度比較(%)	-	△2.5	11.6	1.9	△11.2
前年度比較(%)	-	△2.5	14.5	△8.6	△12.9

表5 施設毎の温室効果ガス排出量の推移

No.	施設名称	排出量（単位 t-CO2）				
		基準年度 2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1	一般廃棄物処理施設	10,518	10,234	11,858	10,779	9,337
2	一般廃棄物最終処分場	100	102	96	100	97
3	ニライ消防本部	591	586	556	552	523
4	事務局	1	1	1	1	1
	合 計	11,210	10,923	12,511	11,432	9,958

